

セブン銀行2022年3月期

決算説明資料

Today's Agenda

01 2022年3月期 業績

 **02 中期経営計画の進捗**

03 2023年3月期 業績予想

04 APPENDIX

01 2022年3月期業績

2022年3月期 業績ハイライト〔連結〕

【前年比】減収・減益

【計画比】経常収益・経常利益は僅かに未達。

	2022年3月期実績	2021年3月期実績	前年比	計画比
経常収益	1,366 億円	1,372 億円	△0.4%	△0.7%
経常費用	1,084 億円	1,016 億円	+6.6%	△0.7%
経常利益	282 億円	356 億円	△20.7%	△0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	208 億円	259 億円	△19.6%	+5.5%
EBITDA	446 億円	497 億円	△10.2%	-

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年比及び計画比は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート 1米ドル 2021年3月期実績 106.76円、2022年3月期計画 108.00円、2022年3月期実績 109.90円

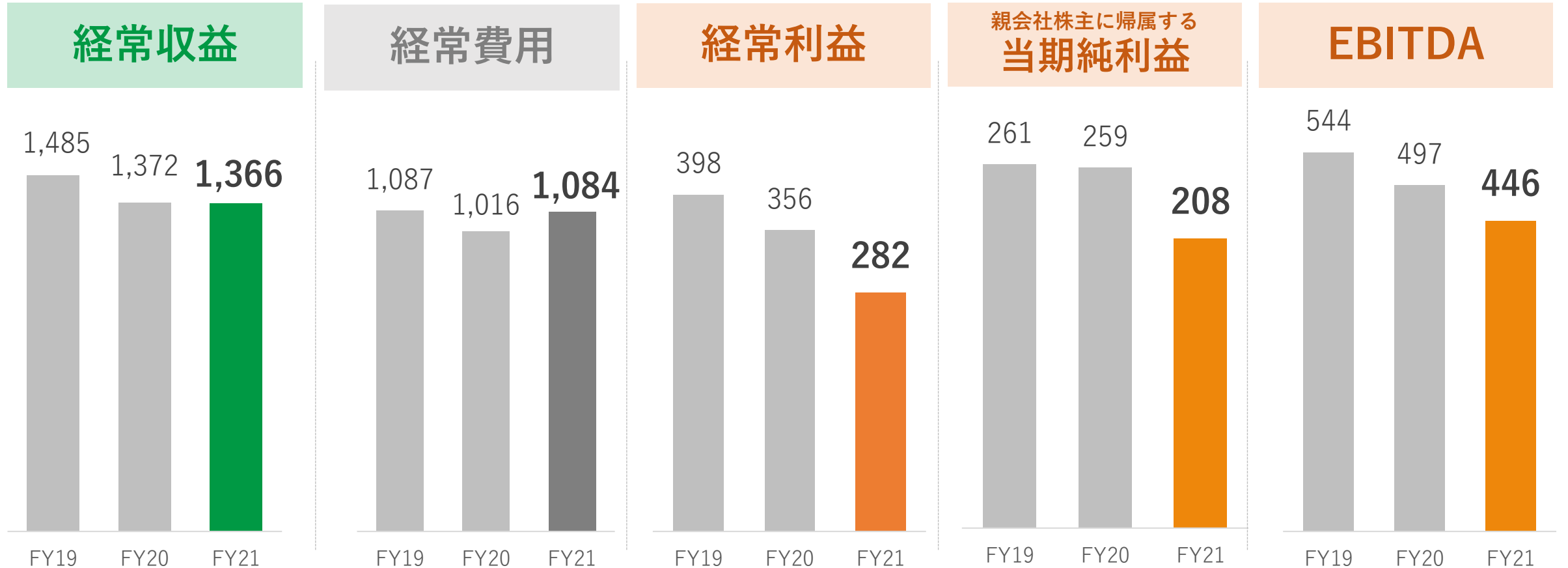
注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

業績推移〔連結〕

【経常収益】 新たなATM受入手数料体系導入の影響により手数料単価が減少するも、ATM利用件数が増加したため、収益はほぼ前年並みに

【経常利益】 (次頁にて説明)

(単位：億円)

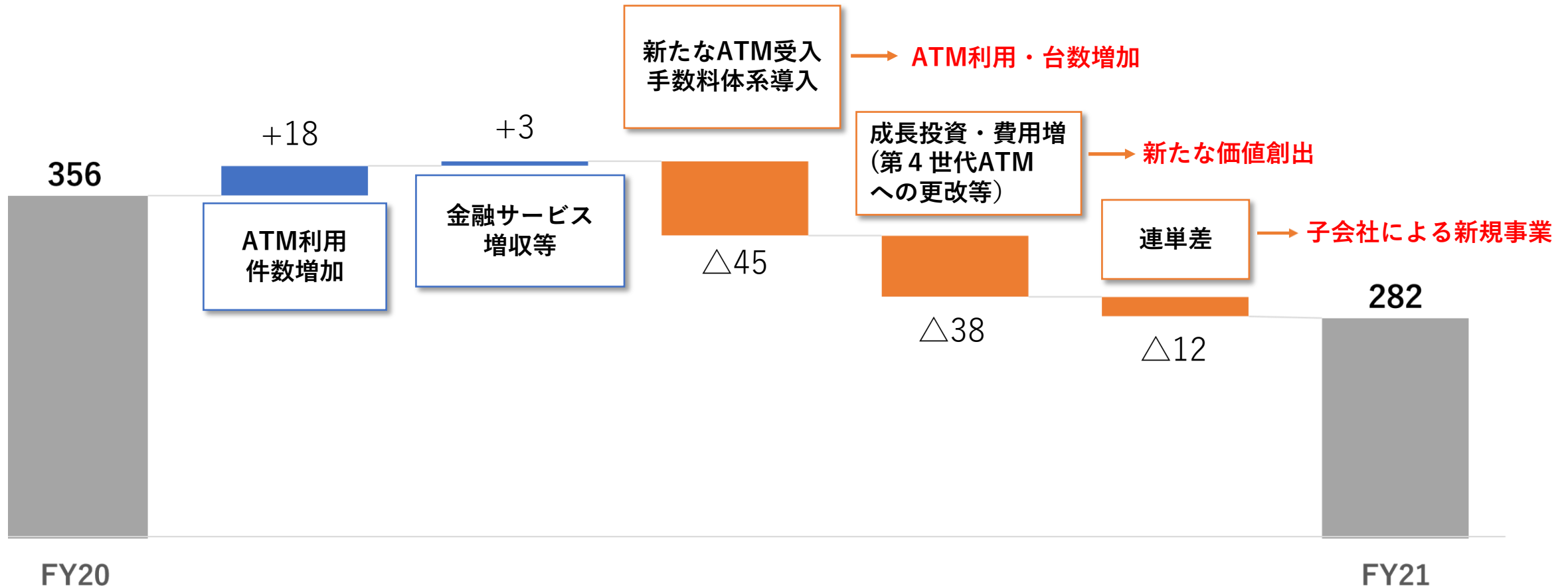


経常利益の前年度差異（概算）〔連結〕

■ 新たなATM受入手数料体系導入影響及び成長投資を主因とする費用増により、
経常利益は△74億円

成長のための布石

(単位：億円)



2022年3月期業績ハイライト〔セブン銀行単体〕

- (経常収益・経常利益にかかる説明は連結同様)
- 当期純利益は、21年3月に実施した繰延税金資産取り崩しの反動により増益

	2022年3月期実績	2021年3月期実績	前年比	計画比
経常収益	1,102 億円	1,116 億円	△1.2%	△0.6%
経常費用	818 億円	770 億円	+6.2%	△2.1%
経常利益	284 億円	345 億円	△17.6%	+4.0%
当期純利益	181 億円	158 億円	+14.5%	△4.2%
EBITDA	433 億円	476 億円	△9.0%	+0.4%

主要事業会社毎の業績〔各社単体・連結調整前〕

(単位：百万円)

	国内子会社		海外子会社	
	バンク・ ビジネスファクトリー	セブン・ ペイメントサービス	FCTI	ATMi
	【事務受託事業】	【送金・決済事業】	【米国ATM運営事業】	【インドネシアATM 運営事業】
経常収益	2,423	447	22,675	1,524
(前年差)	(+398)	(+78)	(△1,559)	(+1,095)
経常利益	39	108	1,805	333
(前年差)	(△182)	(+86)	(△638)	(+204)
当期純利益	27	89	3,946	301
(前年差)	(△117)	(+73)	(+1,319)	(+187)
	増収・減益 受注拡大による増収。 事業拡大に向けた先行支出 により減益	増収・増益 「ATM受取」等が順調 に拡大	減収・減益[※] 低採算ATM撤去により 採算性を改善。 繰延税金資産計上により 当期純利益は増益	増収・増益 ATM設置を大幅に拡大

注) 為替レート 100インドネシアルピア 2020年12月期実績=0.735円、2021年12月期実績=0.768円

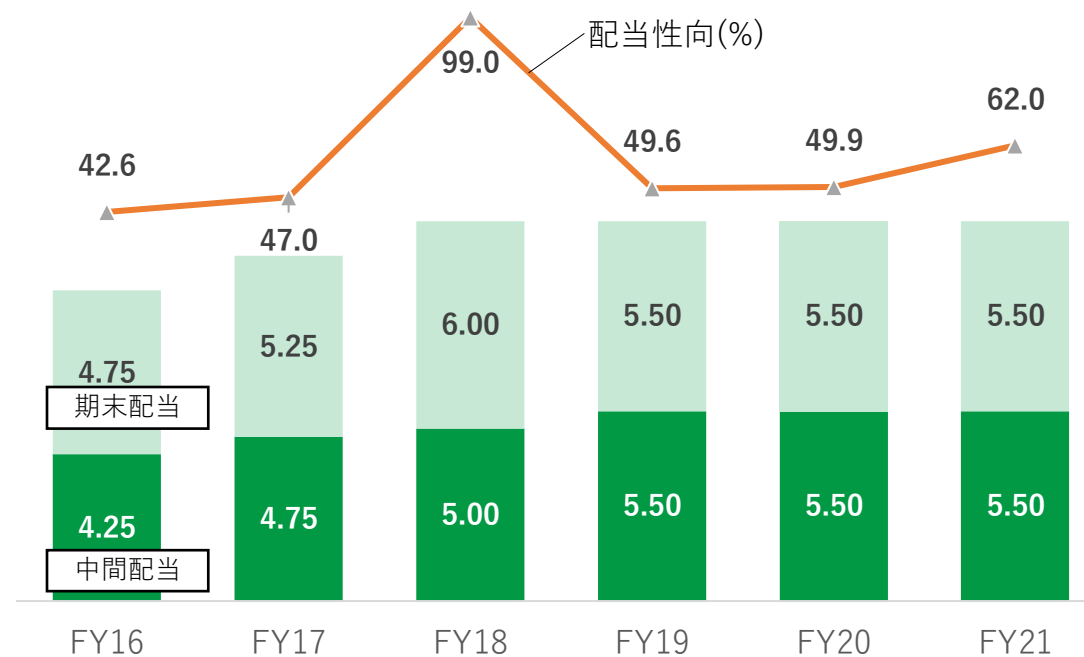
※利益の増減は「経常利益」を指します。

財務状況〔連結〕

貸借対照表 (2022年3月末) (単位：億円)

現金預け金 (ATM装填用等)	9,314	預金 (うち個人預金 5,507)	7,906
有価証券	899	社債	1,050
ATM仮払金	844	ATM仮受金	492
その他	1,159	その他	327
		純資産	2,441
資産	12,216	負債 + 純資産	12,216

配当実績



連結自己資本比率 (国内基準) 47.31% (速報値)
 格付 (長期) S&P A
 R&I AA-

02 中期経営計画の進捗

中期経営計画（2021年度～2025年度）の全体像

【中期経営計画資料再掲】

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

現金プラットフォームからATM+への進化

強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

国内事業	中核	ATMプラットフォーム戦略
	成長	リテール戦略
海外事業		海外戦略

社会課題解決への貢献

サステナビリティ推進の基本方針・体制の見直し

5つの重点課題への取組みをさらに発展

環境課題解決に向けたグループ・委託先との協働

企業変革

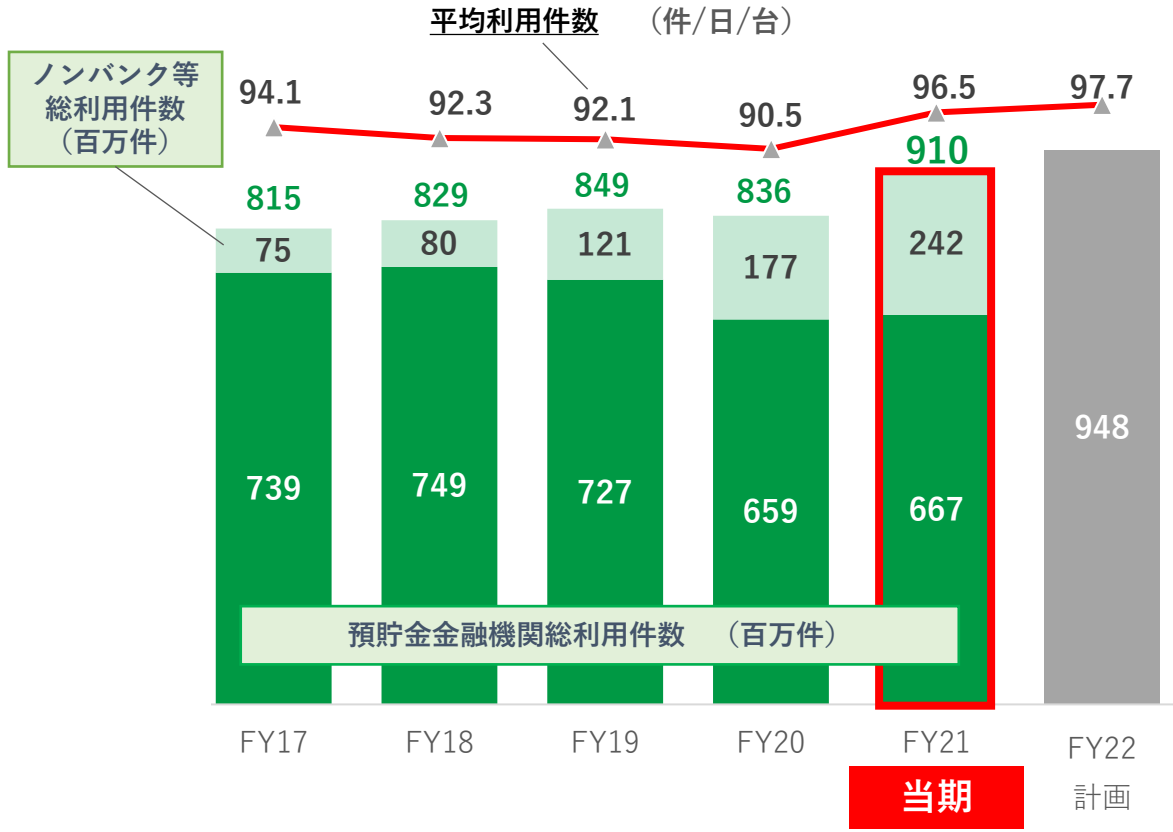
自律型人材が活躍できる組織への変革

データ利活用、効率化を意識したビジネスモデル・プロセスの変革

成長戦略 (ATMプラットフォーム戦略①)

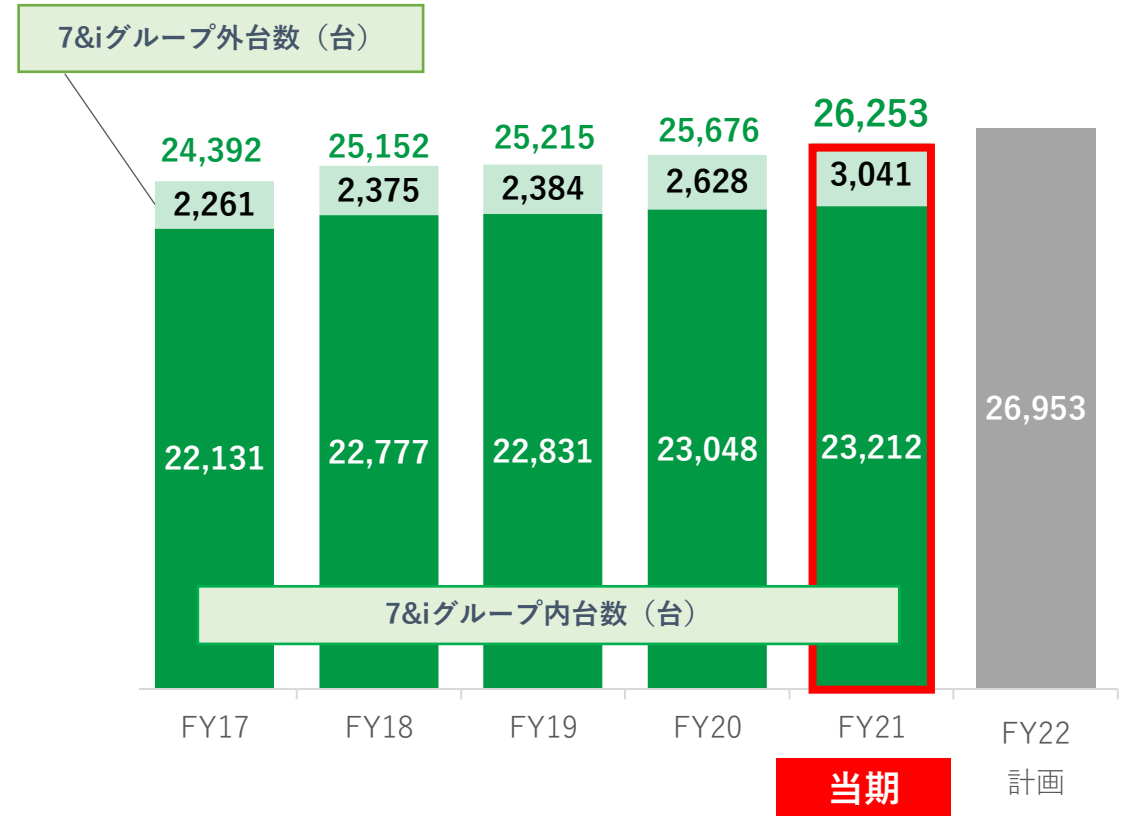
ATM利用件数の推移

■ 総利用件数は年間9億件を突破



ATM期末台数の推移

■ 26千台を突破。グループ外台数も3千台を超過



注1) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず

注2) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、コード決済事業会社等の合計

注3) FY21 ATM受入手数料単価 108.8円 ※ ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出

金融機関とのATM共同運営を拡大

■ 福井銀行とATMの共同運営を拡大 **New!**



2022年度から同行店舗外ATM

約70台

を順次、共同運営に切替予定

■ 福島県内のヨークベニマル店舗にて 東邦銀行とATM共同運営開始（2021年10月～）



2022年3月末時点

32台

順次入替中
（77台まで拡大予定）

その想いを超え、日常のみらいへ。

いつでも、どこでも使えるセブン銀行ATMはさらに拡大。

ATM利用促進を強化

■ 銀行向け利用促進キャンペーン第2弾

参加行は、**前回*比 + 10行**（70行→80行）

*2021年7月～9月に実施

第2回 セブン銀行ATM
ご利用感謝キャンペーン

対象の銀行でのお取引
キャンペーンへの応募で
その場で当たる!

現金
1,000円

抽選で おひとりさま応募は2回まで
15,000名様にプレゼント!

キャンペーン期間：2022年4月1日(金) 0:00～2022年4月30日(土) 23:59

■ 現金チャージ紹介動画（SNS広告）

2022年3月～YouTube再生回数 **727万回***

*2022年4月15日時点

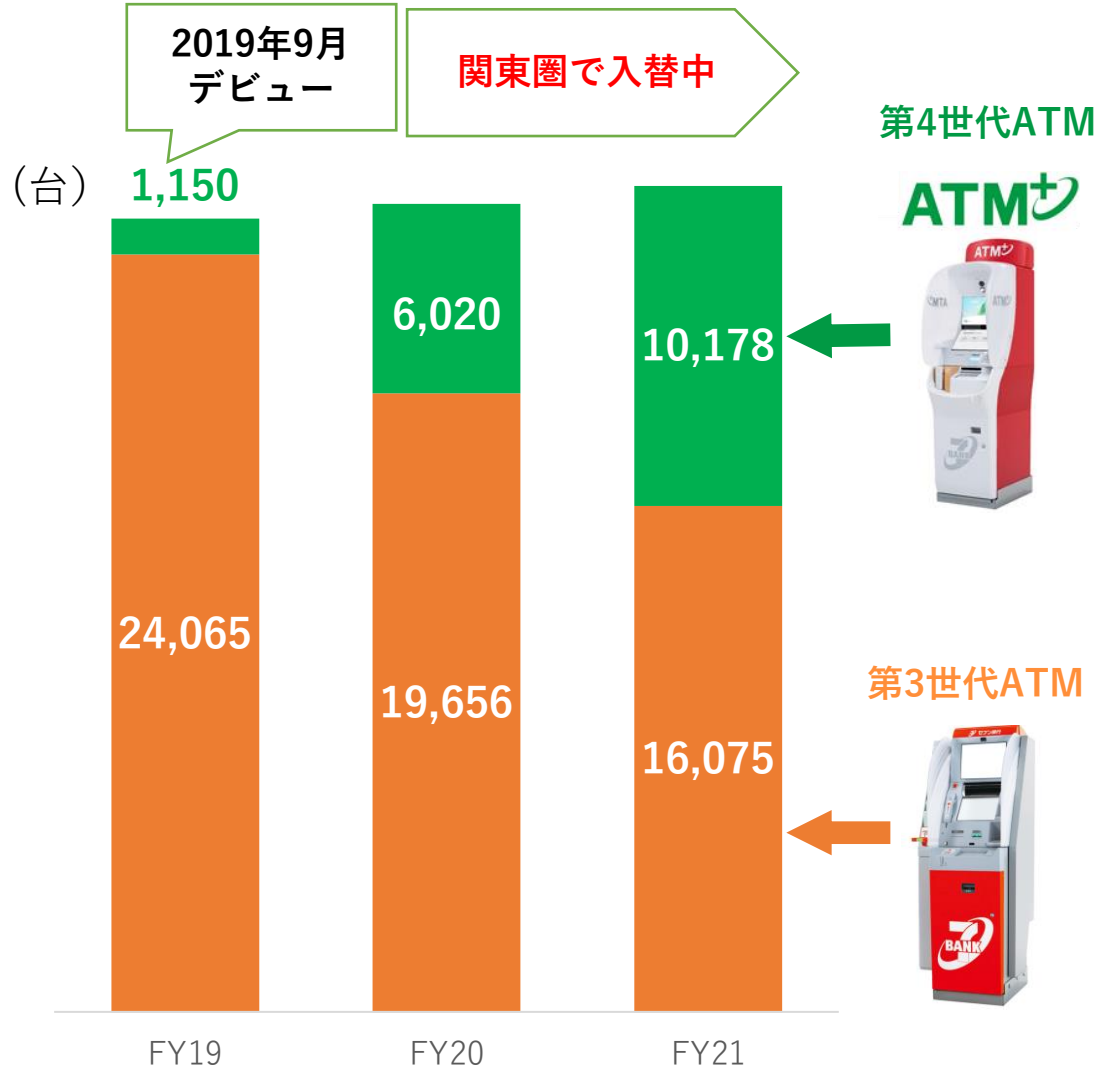
あたりまえ
ATM体操

チャージOK! PayPay au PAY LINE Pay d払い Pay VANDLECARD Kyash

その想いを超え、日常のみらいへ。「近くて便利」なセブン銀行ATMの利用を拡大。

成長戦略（ATMプラットフォーム戦略④）

第4世代ATMの設置を拡大。約4割、1万台の入替を完了



デジタル化を実現するさまざまな機能を実装

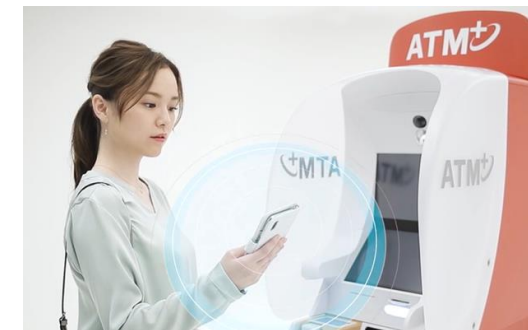
①顔認証機能



②QRコード*・ICカード読み取り



③スマートフォンへの情報発信



* QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です

成長戦略 (ATMプラットフォーム戦略⑤)

ATM+(プラス)の世界を拡大へ

■ 非スマホ層にも「かんたん・便利」。金融・非金融を問わないサービス拡大へ、本格始動

銀行

第1弾：2022年度中に先行リリース予定

顔認証で
カードレス入出金

各種手続き

定期的な取引内容確認等

窓口の手続きをATMが受付



銀行店舗の合理化へ
= ATM設置代替を拡大

ATM顔認証



QRコード・ICカード等の読取り

行政

注) 一部の取引は第3世代ATMでも対応しています

マイナンバー関連取引
【実施中。更に拡大予定】



納税

給付金受取

など

事業会社

実証実験中

ホテルのチェックイン

中古品売買の会員申込

など

その想いを超え、日常のみらいへ。

ATMの安心・安全はさらにサービス範囲を拡大。

想定される利用シーン

成長戦略（ATMプラットフォーム戦略⑥）

行政(自治体)との取組みを拡大：第1弾は兵庫県加古川市(2022年上期中)

■ ATMを利用した給付金の即時受取サービスを開発 ～ 他自治体への拡大も視野に実証予定

< 受取フロー >



注) 操作フローは実際のものとは異なる場合があります

中期経営計画（2021年度～2025年度）の全体像

【中期経営計画資料再掲】

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

現金プラットフォームからATM+への進化

強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

	中核	ATMプラットフォーム戦略
国内事業	成長	リテール戦略
		法人戦略
海外事業		海外戦略

社会課題解決への貢献

サステナビリティ推進の基本方針・体制の見直し

5つの重点課題への取組みをさらに発展

環境課題解決に向けたグループ・委託先との協働

企業変革

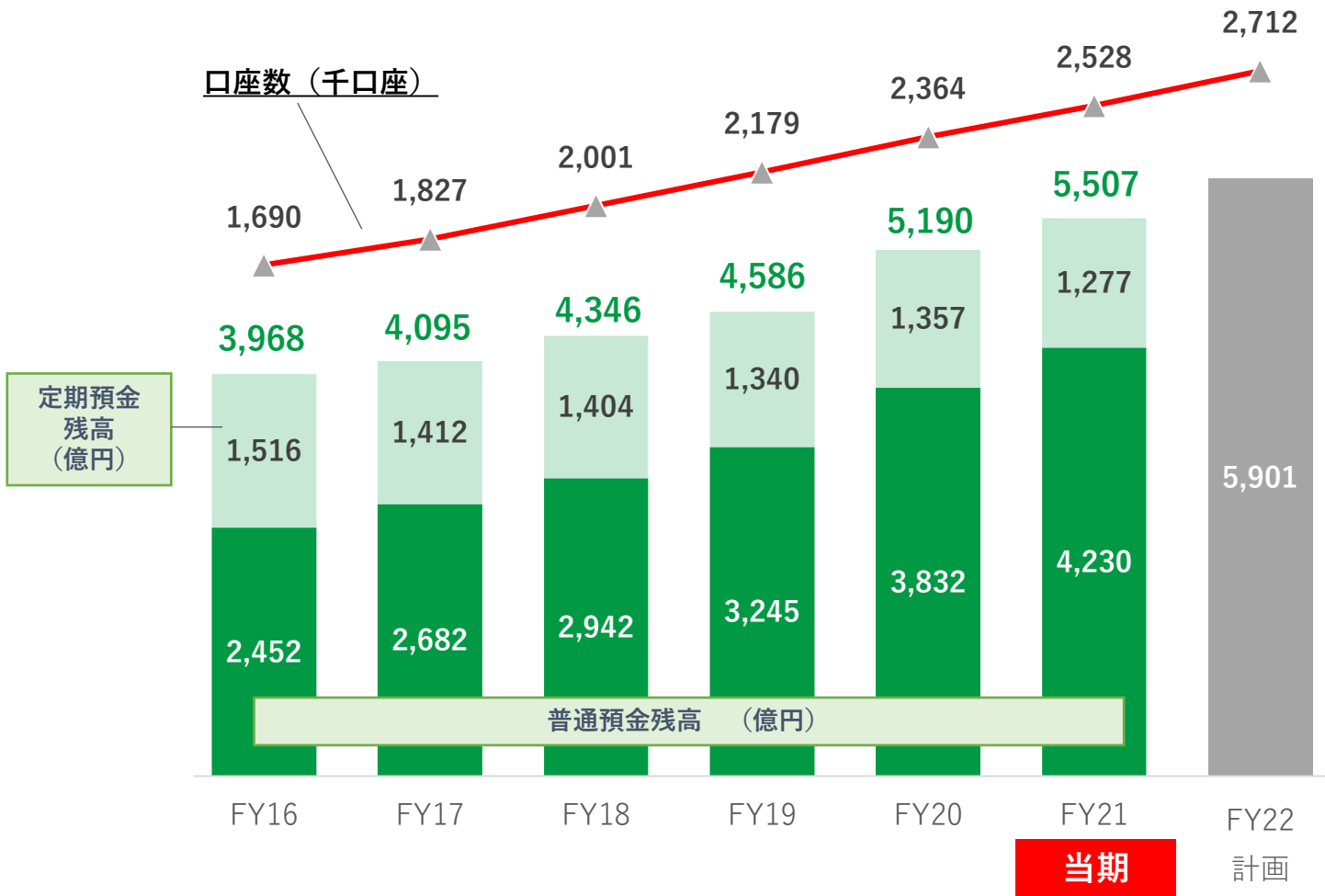
自律型人材が活躍できる組織への変革

データ利活用、効率化を意識したビジネスモデル・プロセスの変革

成長戦略（リテール戦略①）

口座数と預金残高の推移(個人)

■ 口座数・預金残高ともに順調に増加



セブン銀行後払いサービス (2021年9月サービス・イン)



2021年度取扱高
210億円

2021年度取扱件数
1,695千件

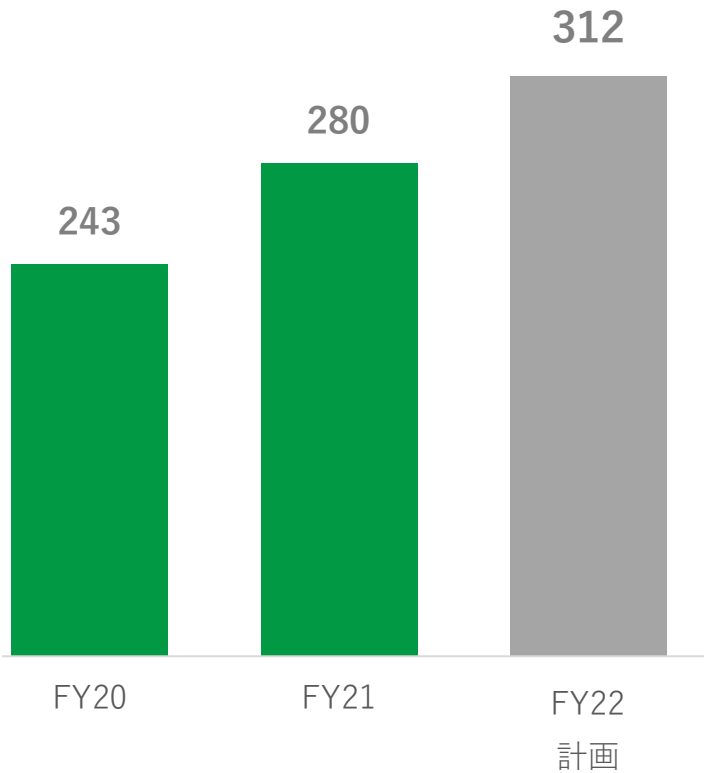
成長戦略（リテール戦略②）

個人向けローンサービス

■ 商品性改善で大幅増 **+15%**

注) 含Credd Finance提供サービス

期末残高（億円）

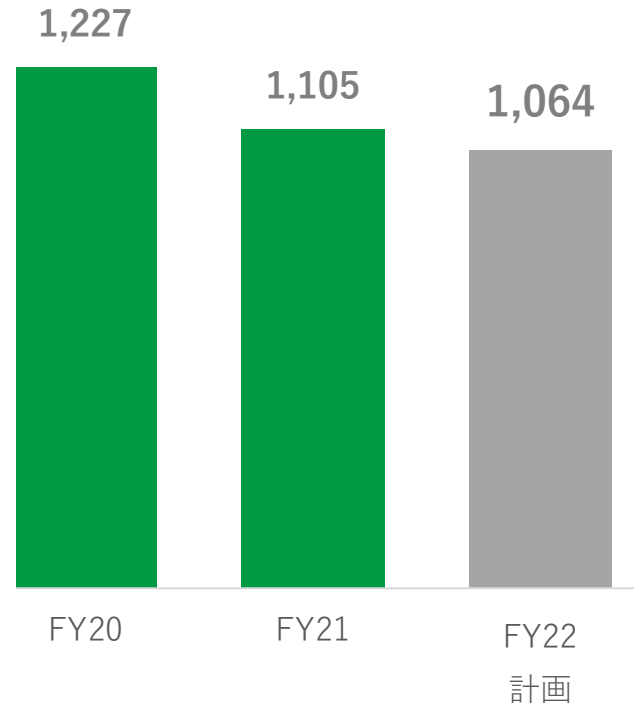


海外送金サービス

■ 入国規制により利用者数が減少 **▲9%**

注) 含セブン・グローバルレミット提供サービス

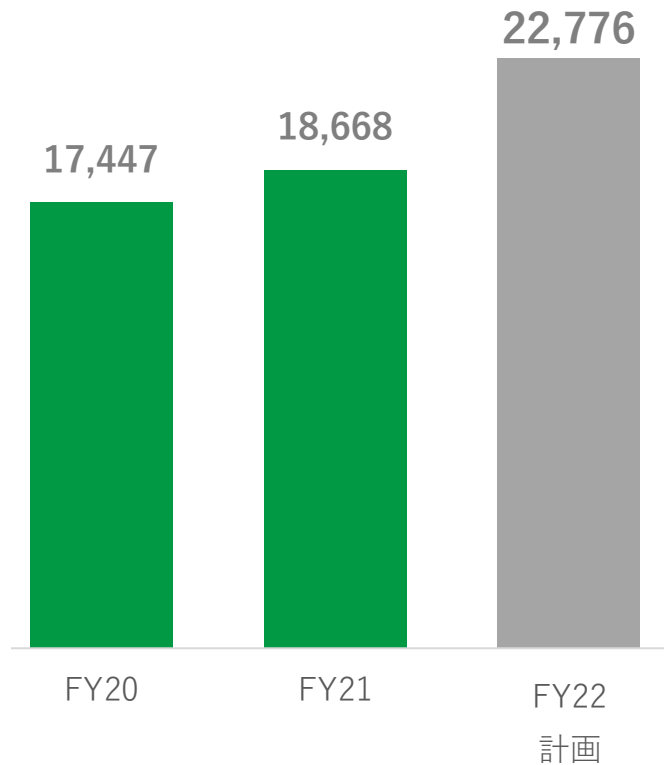
取引件数（千件）



デビットサービス

■ キャッシュレス進行に伴う取引増 **+6%**

取引件数（千件）



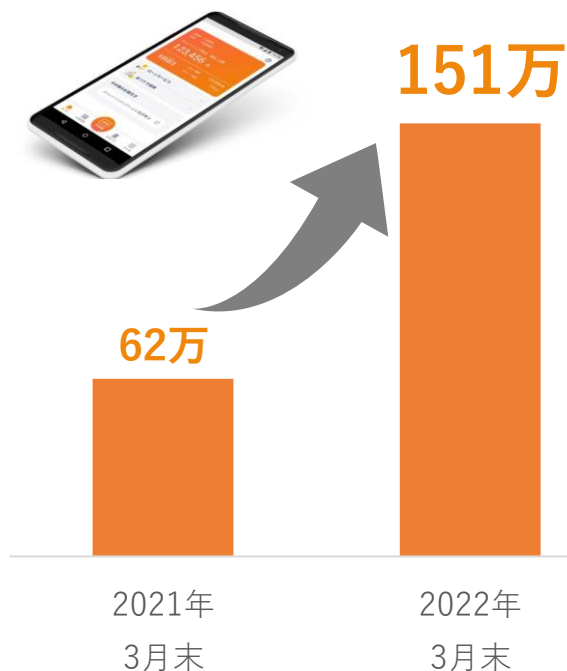
「Myセブン銀行」アプリを通じた金融商品仲介サービスを開始予定

サービス名	お買い物投資コレカブ
ターゲット	「Myセブン銀行」アプリ利用者
取扱商品	日本・米国株式等の売買・つみたて取引（約300銘柄）
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な商品と紐づけた「お買い物」のような投資 ・1株数百円から売買可能 ・アプリ完結で手軽に開始
パートナー	スマートプラス（証券会社）
提供時期	2022年度上半期中



<ご参考>
「Myセブン銀行」アプリ推移

《累計ダウンロード数》



その想いを超え、日常のみらいへ。

身近で使いやすい金融サービスの提供を拡大。

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

現金プラットフォームからATM+への進化

強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

国内事業	中核	ATMプラットフォーム戦略
	成長	リテール戦略
海外事業		

法人戦略

社会課題解決への貢献

サステナビリティ推進の基本方針・体制の見直し

5つの重点課題への取組みをさらに発展

環境課題解決に向けたグループ・委託先との協働

企業変革

自律型人材が活躍できる組織への変革

データ利活用、効率化を意識したビジネスモデル・プロセスの変革

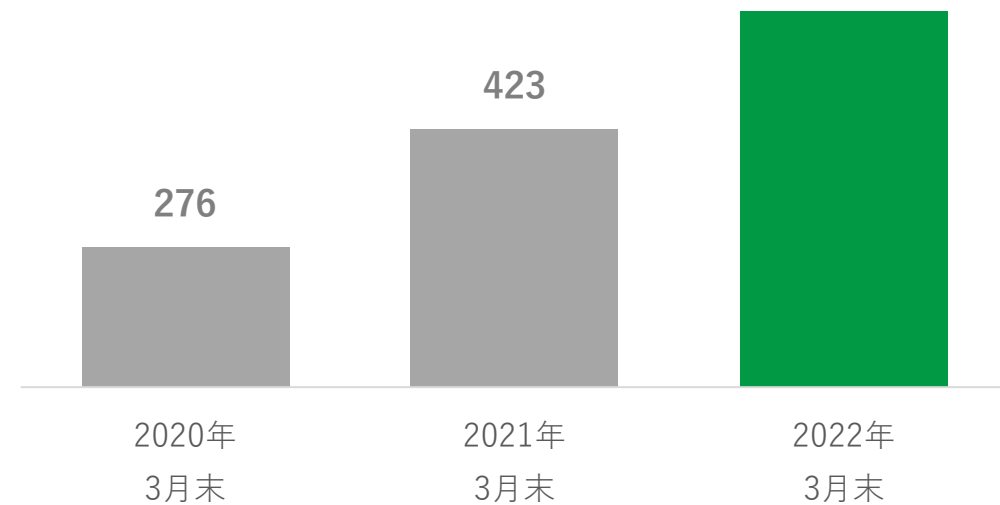
B to B：ATM受取サービス

セブン・ペイメントサービス

取引社数は500社を突破。用途も拡大

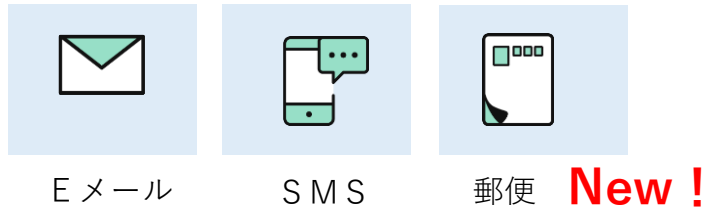


取引社数の遷移（単位：社）



手順はかんたん。郵送による通知も追加

STEP 1. 受取情報が届く



< 郵送ハガキのイメージ >



STEP 2. ATMで受取り



- ✓ 口座不要。番号を入力し現金を受取り
- ✓ 電子マネーへのチャージも可能

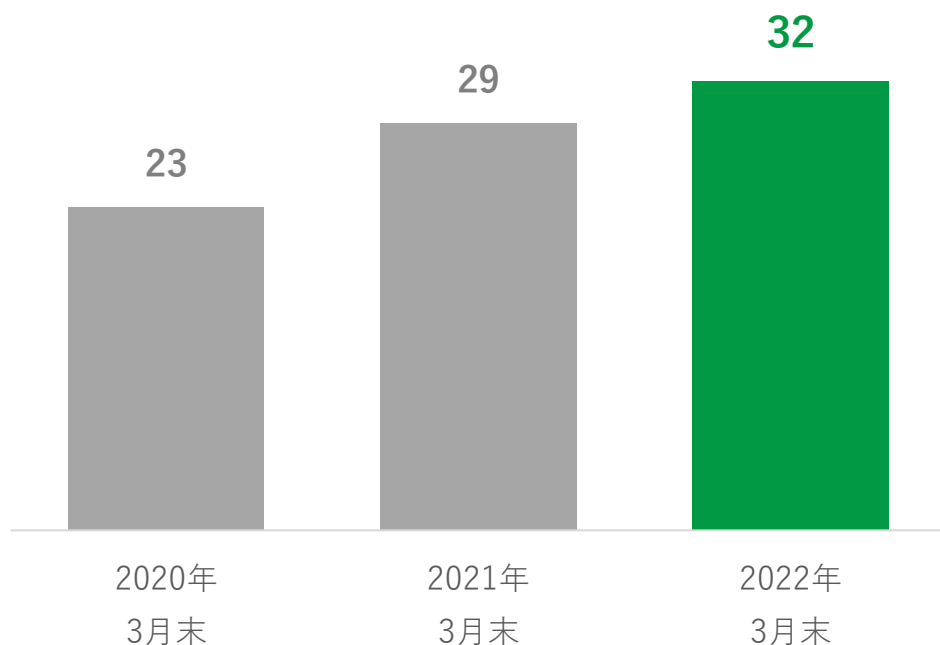
その想いを超え、日常のみらいへ。「かんたん送金・いつでも受取り」はさまざまな利用シーンへ。

B to B to X:プラットフォームビジネスの進捗（受託ビジネス）



- 取引社数は30社を突破
マネー・ローンダリング、住宅ローン等の
事務受託範囲を拡大

取引社数の遷移（単位：社）



- 21年8月のFATF報告書※の公表に対応し、
銀行等のマネー・ローンダリング対策支援を強化

新サービス「INFO-nity」（インフォニティ）は
地銀・信金等12社で採用



※FATF（金融活動作業部会）の第4次対日相互審査報告書のこと

その想いを超え、日常のみらいへ。

金融機関の合理化・お客さまの利便性向上を支援。

中期経営計画（2021年度～2025年度）の全体像

【中期経営計画資料再掲】

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

現金プラットフォームからATM+への進化

強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

国内事業	中核	ATMプラットフォーム戦略
	成長	リテール戦略
		法人戦略
海外事業	海外戦略	

社会課題解決への貢献

サステナビリティ推進の基本方針・体制の見直し

5つの重点課題への取組みをさらに発展

環境課題解決に向けたグループ・委託先との協働

企業変革

自律型人材が活躍できる組織への変革

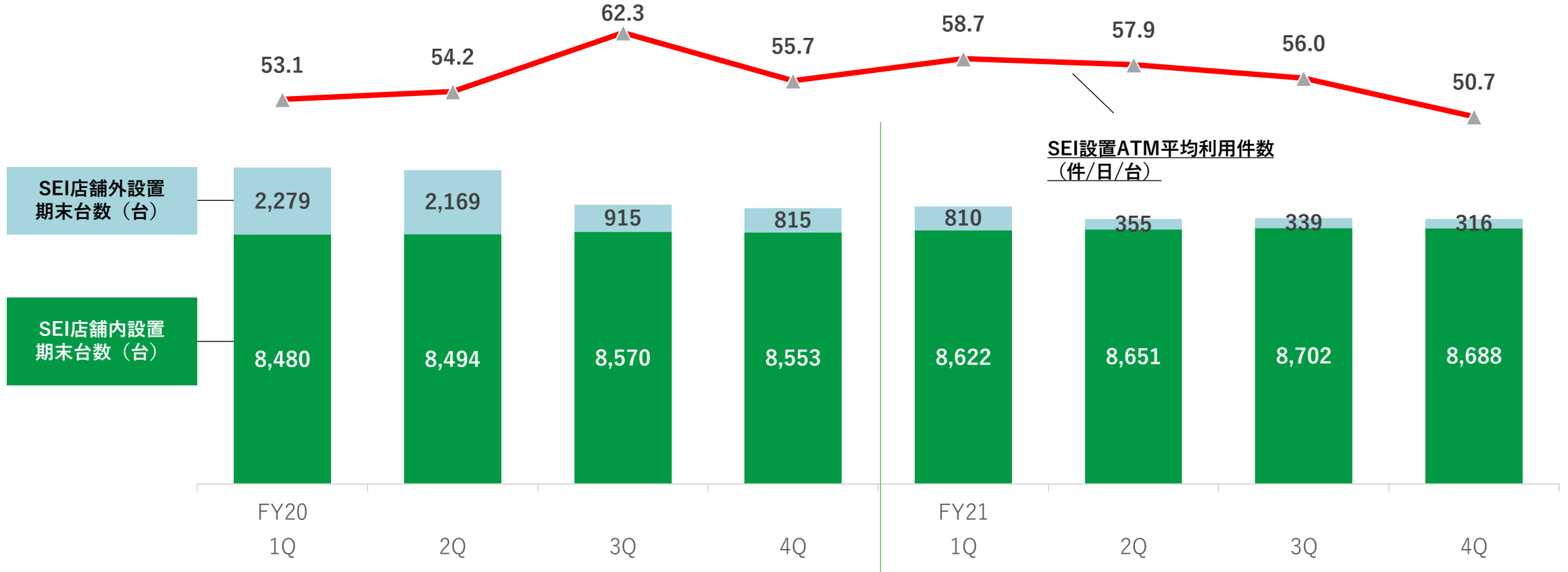
データ利活用、効率化を意識したビジネスモデル・プロセスの変革

成長戦略（海外戦略①）

米国



■ 新型コロナウイルス感染症長期化による影響を受け、ATM平均利用件数は低下傾向

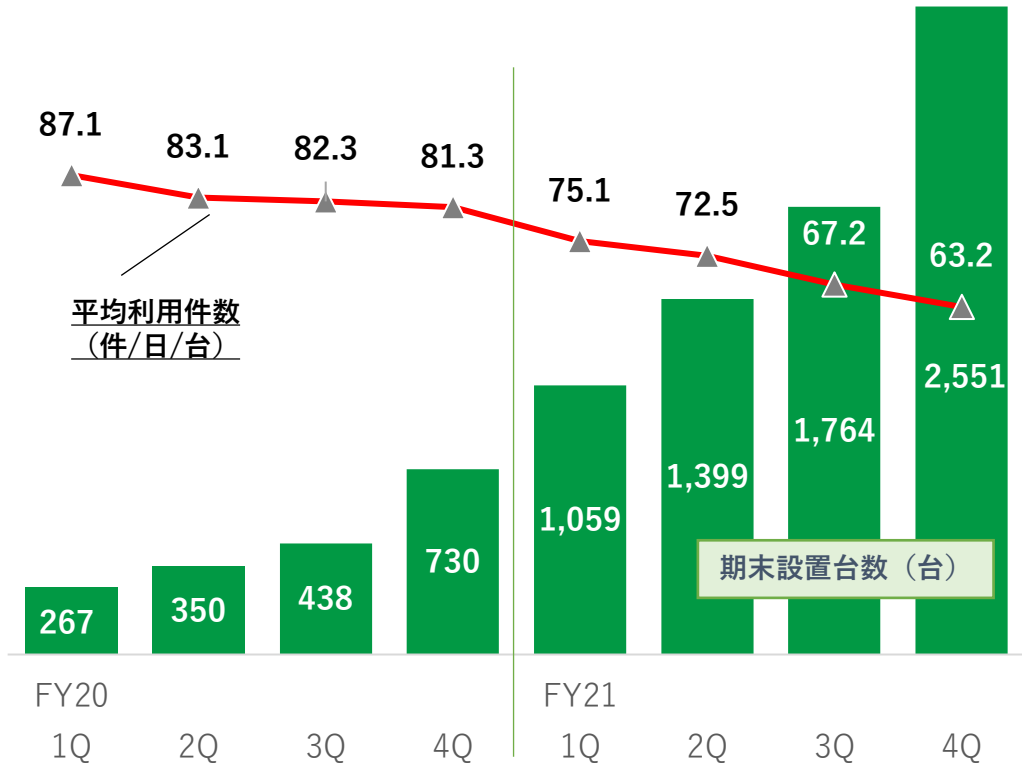


注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)

● **2022年3月末台数は8,684台** ※SEI店舗外ATMは撤去完了
 ⇒ **2022年12月期計画は8,818台 (期末台数)**

インドネシア



注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む

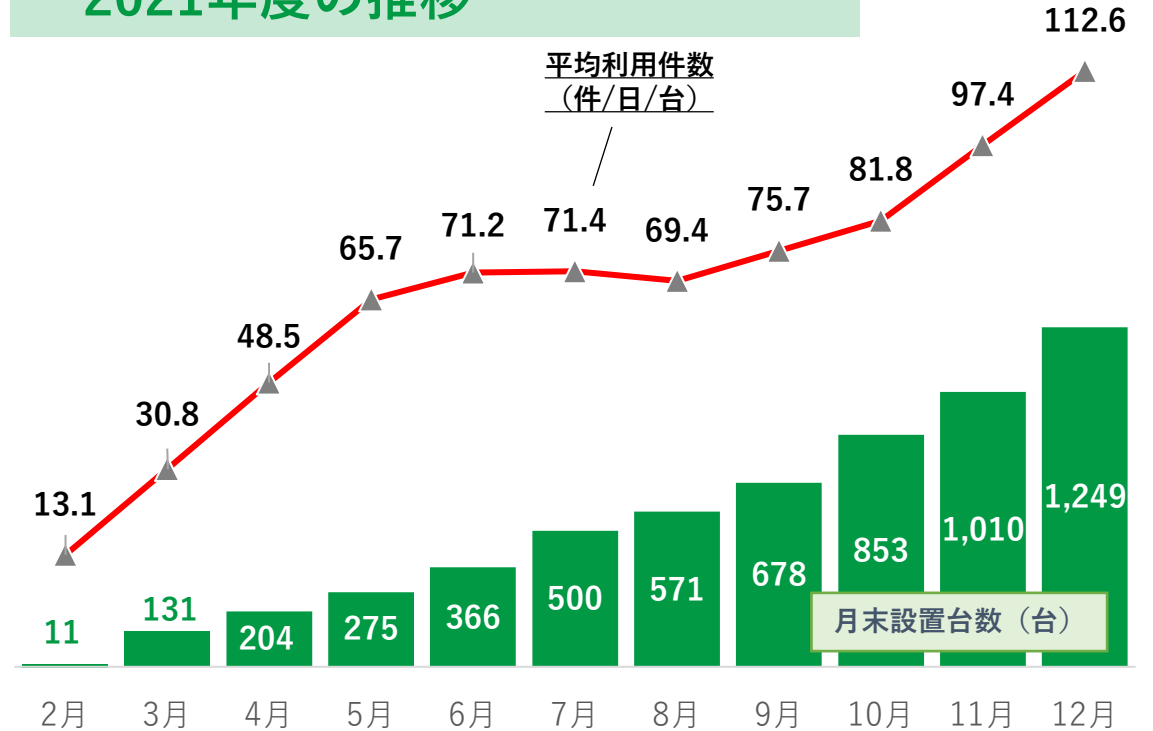
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)

- 2022年3月末台数は3,285台
- ⇒ 2022年12月期計画は5,500台 (期末台数)

フィリピン



2021年度の推移



注) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、売上入金を除く

- 2022年3月末台数は1,497台
- ⇒ 2022年12月期計画は3,050台 (期末台数)

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

現金プラットフォームからATM+への進化

強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

国内事業	中核	ATMプラットフォーム戦略
	成長	リテール戦略
		法人戦略
海外事業	海外戦略	

社会課題解決への貢献

サステナビリティ推進の基本方針・体制の見直し

5つの重点課題への取組みをさらに発展

環境課題解決に向けたグループ・委託先との協働

企業変革

自律型人材が活躍できる組織への変革

データ利活用、効率化を意識したビジネスモデル・プロセスの変革

社会課題解決への貢献

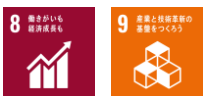
5つの重点課題を全社的な取組みとして推進

5つの重点課題

1. 安心・安全な決済インフラの提供



2. 新しい金融サービスを通じた生活創造



3. 誰もが活躍できる社会づくり



4. 環境負荷の低減



5. 多文化共生の実現



主な進捗 (トピックス)

☑ セブン銀行グループのATMは
世界で約4万台に拡大

FCTI (米国)
ATMの写真



☑ ATM募金を開始 (詳細次頁)

☑ TCFD宣言に賛同



☑ 新データセンターは再生可能エネルギーを活用。
CO2排出量ゼロへ (2050年目標)

☑ スマートフォンアプリ「Sendy (センディー)」
による海外送金対象国を3カ国に拡大
(ベトナム・インドネシア・フィリピン)



社会課題解決への貢献

ATM募金を開始（2021年7月）

セブン・イレブン店
内設置のATMのみで
実施中



第3世代ATM

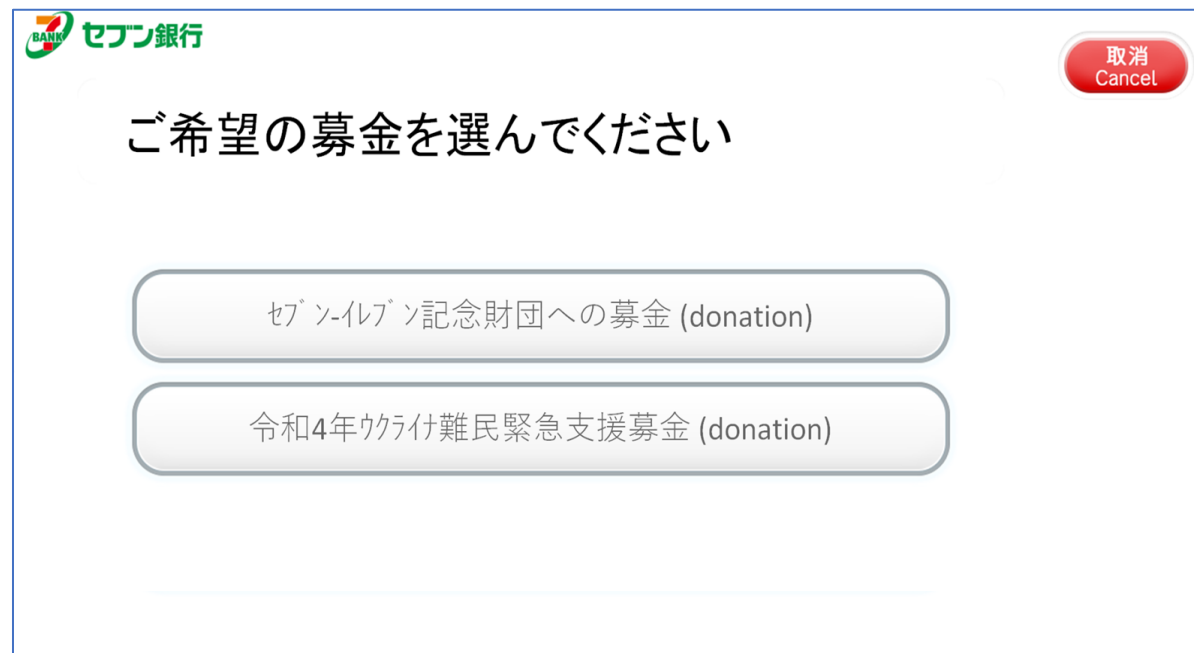
ATM初期画面



第4世代ATM



募金選択画面（2022年4月末現在）



【その他過去のATM募金実施例】

- ・大雨被害緊急支援募金
- ・ラジオ・チャリティ・ミュージックソンへの募金
～目の不自由な方が安心して暮らせる「音の出る信号機」の設置等

03 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 の主なポイント

中期経営計画2年目、直近のトレンドから反転し収益拡大へ。
なお、事業拡大により経常費用は増加も、経常利益はほぼ横ばい。

環境認識

- ✓ コロナ禍での新たな生活様式の浸透
- ✓ キャッシュレスの一層の進展
- ✓ 金融機関や行政等の合理化・デジタル化への取組みが加速
- ✓ 米国を中心とした金利上昇

施策

- ATM設置台数の更なる拡大と利用促進策強化
- 第4世代ATMを活用した認証等サービスの拡大。
但し、当年は費用支出が先行
- リテール・法人戦略の展開を加速
- 海外事業はアジアを中心にATM設置台数拡大を図りつつ資金効率を改善

2023年3月期 配当予想

- 堅実なビジネスモデル・強固な財務基盤を生かし、
前年度同額の年間11円を計画

2023年3月期 連結業績予想

	2023年3月期計画	2022年3月期実績	前年比
経常収益	1,490億円	1,366億円	+9.0%
経常費用	1,210億円	1,084億円	+11.6%
経常利益	280億円	282億円	△0.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	195億円	208億円	△6.2%
EBITDA	480億円	446億円	+7.6%

注) 連結損益の為替レート 1米ドル：2022年3月期実績 = 109.90円、2023年3月期計画 = 114.00円



04 APPENDIX

損益計算書<連結>

(単位：億円)

	2021年 3月期	2022年			2023年3月期_計画			
		計画	3月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,372	1,376	1,366	△6	1,490	124	725	51
経常費用	1,016	1,092	1,084	68	1,210	126	590	67
経常利益	356	283	282	△74	280	△2	135	△15
特別損益	0	0	△11	△11	0	11	0	△2
親会社株主に帰属する 当期純利益	259	197	208	△51	195	△13	95	△13

(参考) 持分法投資損益

△7億円

△6億円

通期計画

△3億円

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2021年3月期実績 106.76円、2022年3月期計画 108.00円、2022年3月期実績 109.90円、2023年3月期計画 114.00円

損益計算書<セブン銀行単体>

(単位：億円)

	2021年 3月期	2022年		2023年3月期_計画				
		計画	3月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,116	1,109	1,102	△14	1,165	63	575	29
うちATM受入手数料	993	981	971	△22	1,018	47	504	22
経常費用	770	836	818	48	890	72	440	41
うち資金調達費用	5	5	5	0	5	0	2	0
うちATM設置支払手数料	159	161	165	6	172	7	85	3
うち業務委託費	209	223	217	8	231	14	114	8
うち保守管理費	38	39	39	1	41	2	20	1
うち減価償却費	130	157	149	19	174	25	85	13
経常利益	345	273	284	△61	275	△9	135	△12
特別損益	△7	0	△17	△10	0	17	0	1
法人税等合計	180	83	85	△95	85	0	40	△4
当期純利益	158	189	181	23	190	9	95	△5
EBITDA	476	431	433	△43	450	17	220	1
期末ATM設置台数 (台)	25,676	26,226	26,253	577	26,953	700	26,612	676
ATM受入手数料単価 (円)	121.4	110.9	108.8	△12.6	109.5	0.7	110.5	0.7
平均利用件数 (件/台/日)	90.5	95.5	96.5	6.0	97.7	1.2	96.3	1.1
総利用件数 (百万件)	836	902	910	74	948	38	465	18

損益計算書<FCTI単体>

(単位：百万米\$)

	2020年 12月期	計画	2021年 12月期	前年差異	2022年12月期_計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	227.0	210.3	206.3	△20.7	204.6	△1.7	97.5	△9.3
経常費用	204.1	188.4	189.9	△14.2	191.1	1.2	91.0	△1.9
うち資金調達費用	17.1	12.3	14.7	△2.4	21.9	7.2	7.9	0.3
うちATM設置支払手数料	115.8	109.6	107.4	△8.4	106.2	△1.2	52.6	△2.4
うち業務委託費	15.5	12.8	13.7	△1.8	12.3	△1.4	6.0	△1.0
うち保守管理費	16.0	11.7	13.3	△2.7	14.6	1.3	7.3	1.2
うち減価償却費	6.7	6.9	6.3	△0.4	6.8	0.5	3.3	0.2
経常利益	22.8	21.8	16.4	△6.4	13.4	△3.0	6.4	△7.5
特別損益	2.1	0	0	△2.1	0	0	0	0.1
当期純利益	24.6	21.7	35.9	11.3	12.2	△23.7	5.8	△7.7
EBITDA	29.6	28.9	22.7	△6.9	18.8	△3.9	7.3	△9.7
期末ATM設置台数 (台)	9,368	8,664	9,004	△364	8,818	△186	8,770	△236
うちSEI設置台数	8,553	8,664	8,688	135	8,818	130	8,770	119
平均利用件数 (件/台/日)	48.8	56.1	52.9	4.1	54.8	1.9	56.0	1.9
うちSEI設置	56.3	56.9	55.8	△0.5	54.8	△1.0	56.0	△2.3
総利用件数 (百万件)	183.1	179.0	177.8	△5.3	175.4	△2.4	88.7	△3.1

注) FCTI社の資金調達費用 = ATM内装填現金を準備する金融機関への支払利息相当額及び委託手数料等

損益計算書<その他子会社>



(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期		2023年3月期_計画				
		計画	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	2,025	2,130	2,423	398	2,700	277	1,164	226
経常費用	1,804	1,920	2,384	580	2,500	116	1,227	211
経常利益	221	210	39	△182	200	161	△62	16
当期純利益	144	147	27	△117	138	111	△62	△9
外部からの受託社数 (社)	29	41	32	3	40	8	-	-

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期		2023年3月期_計画				
		計画	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	369	521	447	78	599	152	256	49
経常費用	347	518	338	△9	597	259	273	116
経常利益	22	3	108	86	2	△106	△17	△66
当期純利益	16	2	89	73	1	△88	△17	△58
サービス契約社数 (社)	423	-	570	147	-	-	-	-

損益計算書<その他子会社>

(単位：百万円)

	2020年 12月期	計画	2021年 12月期	前年差異	2022年12月期_計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	429	1,501	1,524	1,095	3,894	2,370	1,562	977
経常費用	300	1,287	1,190	890	3,433	2,243	1,442	1,025
経常利益	129	214	333	204	461	128	120	△47
当期純利益	114	214	301	187	394	93	120	△47

ATM台数(台)	730	2,000	2,551	1,821	5,500	2,949	-	-
----------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	---	---

注) 為替レート 100インドネシアルピア 2020年12月期実績 0.735円、2021年12月期計画 0.751円、2021年12月期実績 0.768円、2022年12月期計画 0.751円

(単位：百万円)

	2021年 12月期	2022年12月期_計画		
		通期	前年差異	上期
経常収益	493	2,981	2,488	1,042
経常費用	787	3,232	2,445	1,268
経常利益	△294	△251	43	△226
当期純利益	△241	△251	△10	△226
ATM台数(台)	1,249	3,050	1,801	-

注) 為替レート フィリピンペソ 2021年12月期実績 2.229円、2022年12月期計画 2.3円



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。